

CITIZEN

2025年度（2026年3月期）  
第1四半期決算説明会

シチズン時計株式会社  
2025年8月13日

第1四半期（4-6月）業績概要	連結業績概要	4
	セグメント別業績概要	5
	時計事業	6
	工作機械事業	11
	デバイス事業	14
上期及び通期業績予想	連結業績予想	16
	セグメント別業績予想	17

広報IR担当の小林です。

2025年度第1四半期の業績の概要を説明いたします。

2025年度第1四半期（4－6月期）業績概要



## 第1四半期（4-6月） 減収増益

(単位：億円)	2024年度	2025年度	前年同期比	
	1Q(4-6月)実績	1Q(4-6月)実績	増減額	増減率
売上高	758	752	▲6	▲0.8%
営業利益	46	46	+0	+0.3%
営業利益率	6.2%	6.2%	-	-
経常利益	73	61	▲11	▲16.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	85	91	+6	+7.5%
為替レート	¥155/USD ¥167/EUR	¥146/USD ¥163/EUR		

4

売上高は、工作機械事業は増収となりましたが、デバイス事業が減収となり、752億円、前年比0.8%の減収となりました。

営業利益は、前年同期比で円高となった為替の影響を受けながらも、時計と工作機械のコア事業の収益性改善が進んだことで、46億円、前年比0.3%の増益となりました。営業利益率は6.2%となりました。

経常利益は、為替差益の減少等により61億円と前年比16.1%減となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却益等により、91億円と、前年比7.5%増となりました。

## 2025年度第1四半期（4-6月）セグメント別業績概要

CITIZEN

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2024年度	2025年度	前年同期比		セグメント	業績
	1Q(4-6月)実績	1Q(4-6月)実績	増減額	増減率		
時計事業	416	415	▲1	▲0.3%	■ 時計事業	【減収増益】
工作機械事業	179	189	+10	+6.0%	■ 工作機械事業	【増収増益】
デバイス事業	163	147	▲15	▲9.6%	■ デバイス事業	【減収減益】
合計	758	752	▲6	▲0.8%		
営業利益						
時計事業	37 (8.9%)	44 (10.6%)	+6	+18.6%		
工作機械事業	13 (7.3%)	15 (8.0%)	+1	+15.1%		
デバイス事業	12 (7.4%)	4 (2.7%)	▲8	▲66.8%		
消去又は全社	▲15	▲16	+0	-		
合計	46 (6.2%)	46 (6.2%)	+0	+0.3%		

5

セグメント別の業績です。

米国の関税政策等、先行きが不透明な状況が続いている中、時計事業は、売上高は415億円、前年比0.3%の減収となりましたが、営業利益は44億円、前年比18.6%の増益、営業利益率は10.6%となりました。

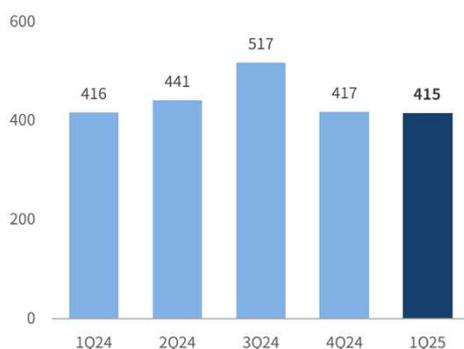
工作機械事業は、中国や欧州が増収となり、売上高189億円、前年比6.0%の増収、営業利益は15億円、前年比15.1%の増益と、増収増益に転じました。

デバイス事業は前年同期にまとまった納品があったフォトプリンターの反動減を受け、減収減益となっております。

■ 第1四半期（4-6月） 減収増益

- 完成品(シチズン) 国内市場は、内需とインバウンド需要ともに想定以下となり、減収  
海外市場は、北米が想定を上回るも、中国を含めたアジア全体は販売低迷が継続し、減収
- 完成品(ブローバ) 主力エリアである北米で時計専門店や百貨店、EC販売が好調に推移し、増収
- ムーブメント アナログクォーツムーブメントは伸び悩むも、機械式ムーブメントが堅調に推移

売上高 (億円)



営業利益 (億円)・営業利益率



6

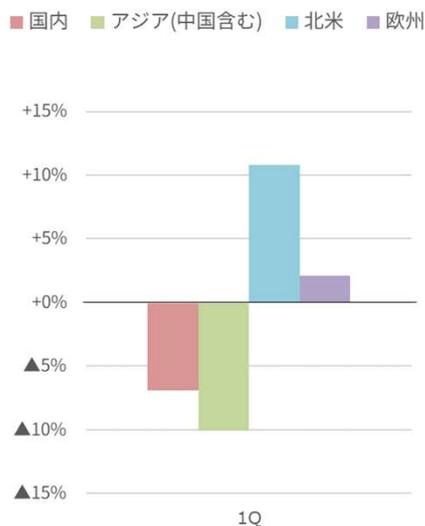
それでは、時計事業の概況をご説明いたします。

完成品販売のうちシチズンブランドにつきまして、国内市場は、内需とインバウンド需要がともに想定を下回り、減収となりました。海外市場は、北米では『プロマスター』や『アテッサ』などのグローバルサブブランドの販売拡大が順調に進みましたが、中国を含むアジア全体で販売の低迷が続き、全体では減収となりました。

ブローバブランドは、ブランド創業150周年関連の宣伝施策による後押しもあり、北米において主要流通である時計専門店と百貨店に加え、EC販売も好調に推移し、増収となりました。

ムーブメントは、アナログクォーツムーブメントは伸び悩みましたが、機械式ムーブメントが堅調に推移しました。

前年同期比増減率 (現地通貨ベース)



地域別販売状況 (4-6月)

地域	前年同期比	詳細
国内	【減収】	レディースブランドの『クロスシー』は堅調な一方、『アテッサ』などメンズブランドの高価格帯モデルの販売が伸び悩んだことに加え、インバウンド需要も想定には届かず、減収
アジア(中国含む)	【減収】	タイやインドなど一部市場は堅調に推移するも、その他アジア地域と中国は市況低迷が継続
北米	【増収】	シチズンブランド、ブローバブランド共に時計専門店・百貨店が好調に推移したほか、直販ECサイトの販売拡大が継続し、増収。シチズンブランドでは『アテッサ』や『シリーズエイト』が大きく伸長。
欧州	【増収】	機械式時計の新商品の好調な販売もあり、イギリスやフランスなどを中心に堅調に推移

こちらは、現地通貨ベースの地域別売上高の伸び率です。

赤色の国内は、レディースブランドの『クロスシー』などが堅調だった一方、『アテッサ』などメンズブランドの高価格帯モデルの販売やインバウンド需要が想定を下回り、減収となりました。

緑色のアジアは、タイやインドなど一部市場は堅調に推移しましたが、その他のアジア地域と中国は厳しい市況が継続し、減収となりました。

青色の北米は、シチズンブランド、ブローバブランド共に、時計専門店や百貨店向けの販売が好調に推移したほか、直販ECサイトの販売拡大が継続し、増収となりました。シチズンブランドでは、新規投入を行った『アテッサ』や機械式ブランドの『シリーズエイト』などが大きく販売を伸ばしました。

紫色の欧州は、ツヨサなどの機械式時計の新商品による販売が好調に進んだこともあり、イギリスやフランスなどが堅調に推移し、増収となりました。

## 『ザ・シチズン』30周年記念限定モデル

- 日本の伝統色である「勝色」に染め上げた藍染和紙文字板が特長の『ザ・シチズン』30周年記念限定モデル
- 年差±5秒の高精度エコ・ドライブムーブメントを搭載
- ケースとバンドは軽量で耐傷性に優れたスーパーチタニウム™を使用

The  
CITIZEN30<sup>th</sup>&beyond

発売日：2025年7月10日  
価 格：希望小売価格 462,000円(税込)  
モデル：世界限定550本

8

続きまして、時計事業のトピックスです。  
まず、『ザ・シチズン』です。

1995年に人生に寄り添う時計として誕生した『ザ・シチズン』は2025年に30周年を迎え、この周年を記念した限定モデルを7月10日に発売いたしました。

濃く深い藍である「勝色」に染め上げた土佐和紙の文字板を採用し、年差±5秒の高精度エコ・ドライブムーブメントを搭載、ケースとバンドは軽量で耐傷性に優れたスーパーチタニウムを使用しています。

今年度を通して「30周年」をフックとした宣伝施策を行い、高価格帯市場における当社のブランドプレゼンスを高めてまいります。

## 『プロマスター』 アクアランド 40周年記念限定モデル・プロモーションイベント

- 世界初エレクトロニクス水深計搭載のダイバーズウォッチ発売40周年を記念した「アクアランド 40周年記念限定モデル」を2025年7月10日に発売
- アクアランドをはじめとするシチズンの防水時計開発の歴史や魅力を伝えるイベント「The Depth of Time」をイタリアにある世界最深の人工プールY-40 The Deep Joyで開催

 PROMASTER

発売日：2025年7月10日  
価 格：希望小売価格 82,500円(税込)  
モデル：世界限定5,800本



アクアランドをはじめとするシチズンの防水時計開発の歴史や魅力を伝えるイベントを開催  
実際にアクアランドを装着してのダイビング体験も行われた



次に、グローバルサブブランドとして展開強化を進めております『プロマスター』です。

プロフェッショナルスポーツウォッチである『プロマスター』から、アクアランド発売40周年を記念した限定モデルを7月10日に発売いたしました。1985年に発売した世界初のエレクトロニクス水深計を搭載したダイバーズウォッチ「アクアランド」は、水深センサーが特徴的な今でも世界で根強い人気を誇るモデルです。

この発売に合わせてイタリアで開催したイベントでは、アクアランドを着用したダイビング体験を行い、メディアにも好評をいただきました。

「中期経営計画2027」で掲げております通り、今後もサブブランドを活用し、グローバルでシチズンブランドの提供価値向上に取り組んでまいります。

## 海外で人気のTSUYOSAから小ぶりのケースサイズが魅力の37mmモデルが登場

- 日本人の腕にもなじみやすい37mmケースサイズ。女性にも使いやすいサイズ感。
- TSUYOSAらしいカラフルなラインナップ展開。
- パステルピンクやバイオレットなど40mmの既存コレクションにはない新しいカラーを追加。



発売日：2025年8月7日  
価 格：希望小売価格 66,000円(税込)  
モデル：全5色展開

10

最後に、グローバルでも人気のツヨサから新商品のご紹介です。

シンプルでベーシックなデザインと豊富なカラーバリエーションが特徴的なツヨサは、発売以降、多くのお客さまからご好評をいただいております。女性のお客さまも使いやすい小ぶりの37mmモデルをラインナップに追加することで、さらなる販売拡大を目指します。

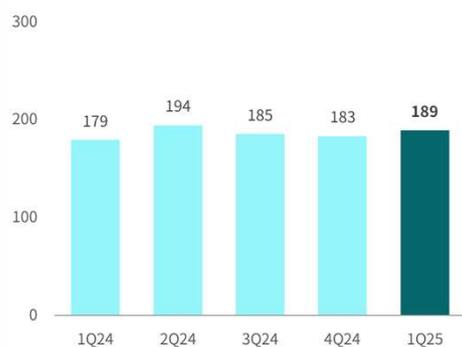
日本での発売は8月ですが、グローバルでは先行して販売をスタートしており、第1四半期の販売拡大に貢献しました。

中長期的に成長が予想される機械式時計市場に対して、今後も注力して取り組みを進めてまいります。

第1四半期（4-6月） 増収増益

- 国内市場 市況に底打ち感は見られるものの、主に自動車関連の需要が回復せず、減収
- 海外市場 米州は医療関連やジョブショップ向けの販売が好調に推移し、欧州では医療関連の販売が堅調を維持したほか、アジアにおいては中国やインドでの販売が伸長し、増収

売上高 (億円)



営業利益 (億円)・営業利益率



11

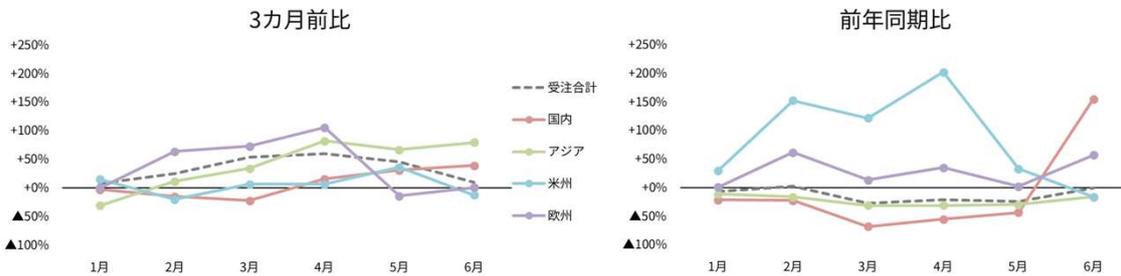
次に工作機械事業です。

売上高は189億円、6.0%の増収、営業利益は15億円、15.1%の増益となりました。

国内は、市況に底打ち感は見られるものの、主に自動車関連が低迷したほか、半導体関連や建機関連も足踏みし、減収となりました。

海外につきましては、米州は医療関連やジョブショップ向けの販売が好調に推移し、欧州では医療関連の販売が堅調を維持したほか、アジアにおいては中国やインドでの販売が伸長し、増収となりました。

受注台数（3カ月移動平均）増減率の推移



地域別の第1四半期（4-6月）の受注台数の状況（3カ月前比）

● 受注合計	+10%	
● 国内	+39%	半導体関連の需要が高まっているほか、更新需要を中心として増加。
● アジア	+12%	中国はジョブショップ向けが伸長。 その他アジアは一部地域で半導体関連などで動きあり。
● 米州	△13%	医療関連は堅調だが、その他の領域は設備投資に慎重姿勢。
● 欧州	+1%	医療関連やジョブショップ向けが堅調に推移。

12

こちらは、地域別の受注状況です。折れ線グラフは、受注台数の3カ月移動平均の3カ月前比と前年同期比の増減率の推移です。

3カ月前比では、地域別に濃淡はありつつも、全体ではプラスに転じており、緩やかな回復基調と認識しております。

スライドの下部は、第1四半期の3カ月前比の受注の状況です。

受注台数の合計は10%増となりました。地域別にみますと、

国内は、少しずつ引き合いが増えており、半導体関連の需要が高まっているほか、更新需要を中心に39%増となりました。

アジアでは、その他アジアに半導体関連などで動きがみられたほか、中国はジョブショップ向けが伸長しました。

米国は、医療関連は堅調に推移しておりますが、その他の領域で設備投資に慎重な姿勢がみられ、13%減となりました。

欧州は、医療関連やジョブショップ向けが堅調に推移し、微増となりました。

前年同期比では、前年3月に国内の値上げ前の駆け込み需要等があり、その後数か月反動減があったことから、3月から5月は前年を下回り、6月に上回る結果となりました。

「シチズン見積支援サービス」を販売開始

- お客さまが加工品を受注した際、AI技術を活用し蓄積された過去の図面や見積データから最適な見積を作成
- 見積作成の負荷が軽減され、より付加価値の高い業務に専念できることで、お客さまの生産性向上に貢献



発売日 : 2025年7月7日  
 販売価格 : 10万円(税別)/月額\*  
 \*1年契約。初回のみ別途初期導入費100万円が発生

[https://cmjcitizencojp.ecbeing.biz/product/mitsumori\\_shien](https://cmjcitizencojp.ecbeing.biz/product/mitsumori_shien)

工作機械事業のトピックスです。  
 2025年7月より、「シチズン見積支援サービス」の販売を開始しました。

こちらのサービスはAI技術を活用し、お客さまに蓄積された過去の図面や見積情報の実績データから最適な見積作成を行います。  
 これにより、従来時間を要していた見積作成の負荷が軽減され、より付加価値の高い業務に専念できるようになり、お客さまの生産性向上につながるサービスとなります。

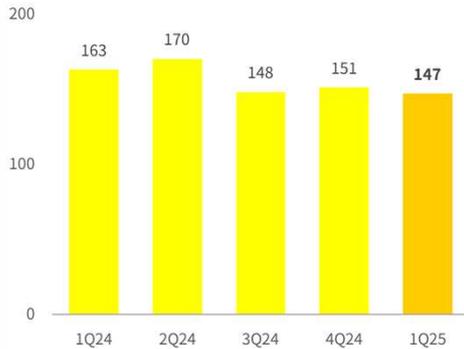
工作機械の販売だけではなく、加工の前工程に関わる業務の改善も支援することで、お客さまの事業全体への貢献を目指します。

「中期経営計画2027」の重点戦略にあります通り、お客さまの「モノづくりワークフローの革新」に貢献するトータルソリューションを提案することで支援の幅を広げ、シェア拡大を狙います。

第1四半期（4-6月） 減収減益

- 自動車部品 国内の自動車メーカーの生産の正常化が進んだほか、米国と中国が堅調に推移し、増収
- 小型モーター 市況の先行きの不透明感から販売が足踏みし、減収
- セラミックス サブマウント製品などが堅調に推移し、増収
- プリンター 前年同期に獲得したフォトプリンターの大口受注の反動により、減収

売上高 (億円)



営業利益 (百万円)・営業利益率



14

最後に、デバイス事業です。

売上高は147億円、9.6%の減収、営業利益は4億円、66.8%の減益となりました。

自動車部品は、国内の自動車メーカーの生産の正常化が進んだほか、米国と中国が堅調に推移し増収となりました。

小型モーターは、市況の先行き不透明感から販売が足踏みし、減収となりました。

セラミックスは、サブマウント製品などが堅調に推移し、増収となりました。

プリンターは、国内と欧州においてPOSプリンターとバーコードプリンターが堅調に推移しましたが、前年同期に獲得したフォトプリンターの大口受注の反動を受け、減収となりました。

2025年度上期及び通期業績予想

続いて、2025年度業績予想についてご説明いたします。

## 2025年度 上期及び通期業績予想 \*5月発表内容から変更なし。

(単位：億円)	2024年度 実績		2025年度 予想		増減額		増減率	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	1,565	3,168	1,550	3,180	▲ 15	+11	▲1.0%	+0.4%
営業利益	123	205	90	200	▲ 33	▲ 5	▲27.0%	▲2.9%
営業利益率	7.9%	6.5%	5.8%	6.3%	-	-	-	-
経常利益	122	230	100	220	▲ 22	▲ 10	▲18.5%	▲4.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	122	238	110	200	▲ 12	▲ 38	▲10.4%	▲16.2%
為替レート	¥154/USD ¥167/EUR	¥153/USD ¥164/EUR	¥145/USD ¥161/EUR	¥145/USD ¥161/EUR				

## 2025年度 配当金予想

- 47円（中間 23円50銭 / 期末 23円50銭）
- 前期比2円増配

## 為替影響額 (1円円安の年間影響額)

	USD	EUR
売上高	+7.5億円	+2.6億円
営業利益	+2.4億円	+1.3億円

16

通期連結業績予想は、5月13日に公表した数値から変更しておりません。

なお、米国の関税影響につきましては、8月以降に仮に税率が日本15%、中国30%が期末まで継続した場合、時計事業において、前回想定から追加コストの発生が見込まれますが、10億円程度とみており、既に進めている北米市場の値上げで対応可能な範囲であると現時点では考えております。

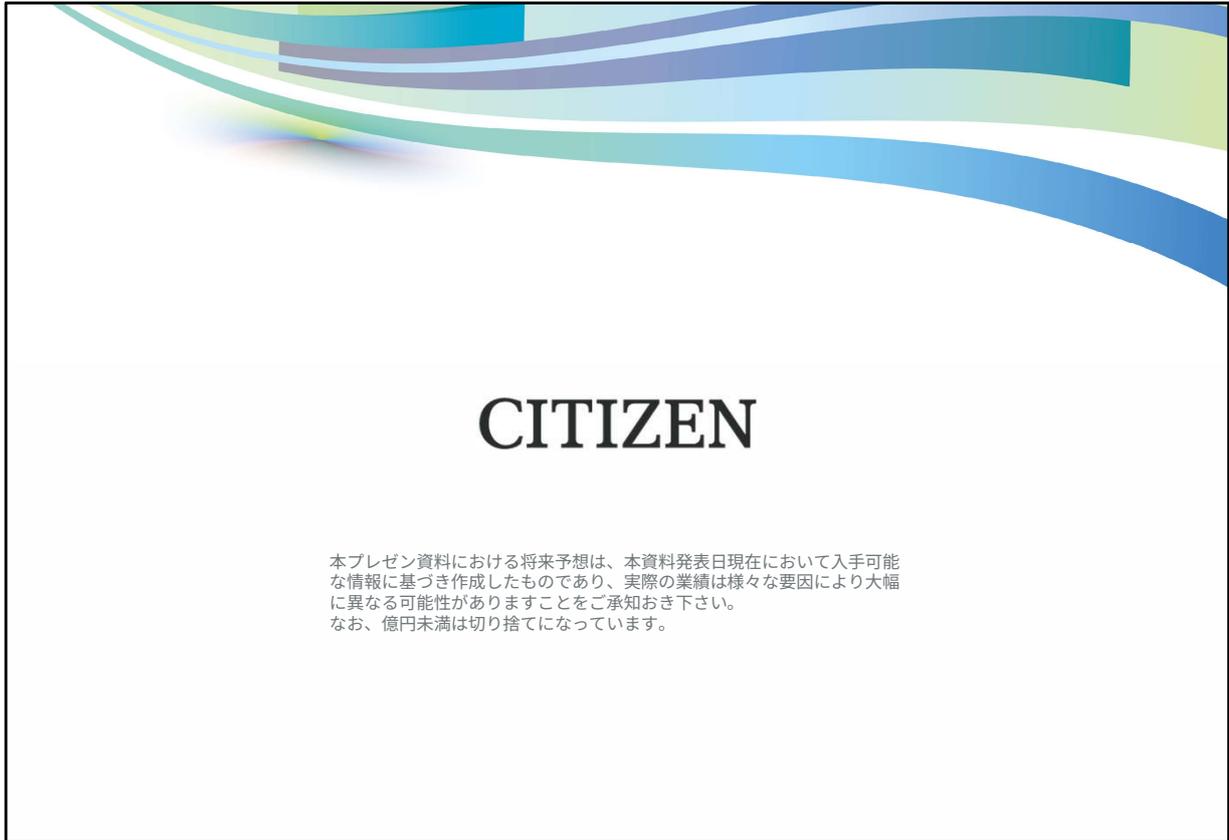
(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2024年度 実績		2025年度 予想		増減額		増減率	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
時計事業	857	1,792	865	1,800	+7	+7	+0.9%	+0.4%
工作機械事業	373	743	370	755	▲3	+11	▲1.1%	+1.6%
デバイス事業	333	633	315	625	▲18	▲8	▲5.6%	▲1.3%
合計	1,565	3,168	1,550	3,180	▲15	+11	▲1.0%	+0.4%
営業利益								
時計事業	96 (11.3%)	181 (10.1%)	87 (10.1%)	185 (10.3%)	▲9	+3	▲9.9%	+1.9%
工作機械事業	30 (8.1%)	56 (7.6%)	25 (6.8%)	60 (7.9%)	▲5	+3	▲17.2%	+5.8%
デバイス事業	27 (8.3%)	29 (4.7%)	11 (3.5%)	20 (3.2%)	▲16	▲9	▲60.4%	▲32.6%
消去又は全社	▲31	▲62	▲33	▲65	▲1	▲2	-	-
合計	123 (7.9%)	205 (6.5%)	90 (5.8%)	200 (6.3%)	▲33	▲5	▲27.0%	▲2.9%

\*2025年度より電子機器他事業は「デバイス事業」に集約。2024年度実績はデバイス事業と電子機器他事業を統合し「デバイス事業」として表記。時計事業についても一部変更あり。

17

セグメント別業績予想につきましても同様に、前回予想から変更しておりません。



# CITIZEN

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。  
なお、億円未満は切り捨てになっています。

以上となります。